

参加申込規定

参加料 (消費税抜価格)	日別(セッション別)参加料	2日間参加料(交替参加可)
日本能率協会法人会員	38,000円	66,000円
会員外	43,000円	76,000円

※本事業開催時の消費税を適用させていただきます。
 ※テキスト費は含まれておりません。
 ・法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<http://www.jma.or.jp/membership/>

参加申込方法

- ①申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページからお申込みください。開催間際のお申込みは、ご参加いただけない場合がございます。あらかじめ電話でご確認ください。
- ②電話ではご予約のみの承りとなります。その場合でも申込書は必ずお送りください。
- ③参加証・請求書は申込書受領後1週間ほどで派遣責任者の方へ発送いたします。
- ④参加料は請求書に記載されております。「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振込みください。期限までにお支払いいただけないお客様については、ご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。なお、支払い期限が過ぎてしまう場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日のご連絡をお願いいたします。(振込み手数料については貴社にてご確認ください)

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合つかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
 開催7日前～前々日(開催初日を含まず)……………参加料の30% (万キャンセルの場合は必ずファックスでご連絡ください)
 開催前日および当日……………参加料全額

ご注意

- ・お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
- ・講義の録音・撮影はご遠慮ください。
- ・テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストはおわけいたしません。

個人情報のお取り扱いについて

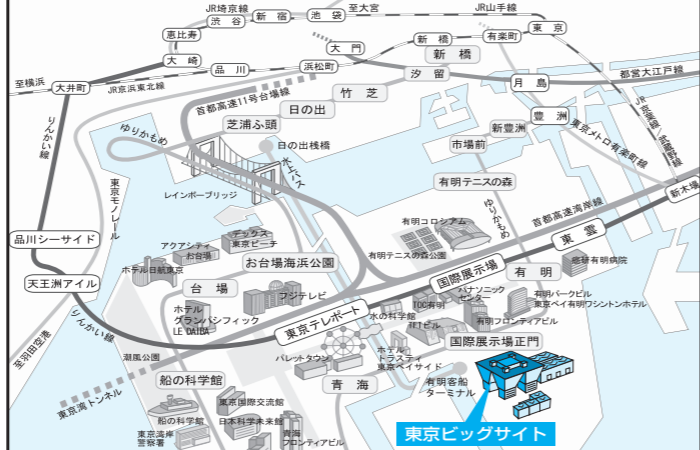
一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針 (<http://www.jma.or.jp/privacy/>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

会員制度のご案内
 一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。
 資料請求先：プログラム内容の問い合わせ先まで

会場案内 東京ビッグサイト 会議棟
 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1 TEL 03 (5530) 1111 (大代)



路線	所要時間	片道料金	備考
りんかい線・ゆりかもめ	13分	280円	国際展示場駅 徒歩7分
大崎駅	22分	370円	国際展示場正門駅 徒歩3分
新橋駅	約40分	片道200円	
都営バス	約25分	片道600円	(京浜急行バス)
京浜急行バス・リムジンバス	約25分	片道600円	(リムジンバス)
羽田空港			

プログラム内容の問い合わせ先
 一般社団法人日本能率協会 産業振興センター
 TEL: 03 (3434) 0587 担当: 加藤

第3回 2014 ネオ・エネルギーシンポジウム 「これからのエネルギービジネスと 資源活用技術」

S1 新たな資源開発とエネルギー技術

S2 海洋・海底資源開発とエネルギー技術

会期 2014年11月13日(木)～14日(金) 2日間

会場 東京ビッグサイト 会議棟

参加対象 石油・化学・ガス・電力等の関連会社、エンジニアリング会社、環境装置等のユーザ、メーカーの担当者 他

開催趣旨
 中東の政情不安による石油輸入問題、東日本大震災による原子力発電の事故、地球温暖化ガスの削減等により、国内外のエネルギー事情は切迫した状況となり、新たな展開を迫られています。
 本シンポジウムは、新たな資源開発・活用、発電・システム等をテーマとして取り上げ、現在、ならびに将来のエネルギー安定供給・拡大と、関連産業の振興を目的として開催します。

～国内最大規模の産業分野のグリーン化を支援する専門展示会～
グリーンイノベーションEXPO2014
 会期：2014年11月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00
 会場：東京ビッグサイト西ホール
 主催：公益社団法人化学工学会 一般社団法人日本能率協会
<http://www.jma.or.jp/green/>

(注)太線の枠内をご記入ください。

2014 ネオ・エネルギーシンポジウム		開催期日	参加者区分	
ふりがな		2014年11月13日(木)～11月14日(金)	該当欄に ✓ 印をご記入ください	
会社名 (正式名称)		事業所名	<input type="checkbox"/> 日本能率協会法人会員 <input type="checkbox"/> 会員外	
所在地			電話番号(市外局番からご記入ください)	
			()	
			FAX番号(市外局番からご記入ください)	
			()	
派遣責任者名	ふりがな	所属 役職名	参加されるセッションに ○印をおつけください。	受付No.
E-mail		JMA主催の関連催し物のメール配信を希望	11/13 (木)	11/14 (金)
		<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		
参加者	ふりがな	所属 役職名	S1	S2
	氏名			
	E-mail	JMA主催の関連催し物のメール配信を希望		
		<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		
参加者	ふりがな	所属 役職名	S1	S2
	氏名			
	E-mail	JMA主催の関連催し物のメール配信を希望		
		<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない		
参加料	● 日別参加料 (@)	円 × () 人	お支払い予定日	
	● 2日間参加料 (@)	円 × () 人	____月 ____日払	
合計金額(消費税抜)		¥		
参加証発行日	請求書発行日	領収日	【日本能率協会への連絡・希望事項欄】	

参加申込先 CKBA33
 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
 一般社団法人日本能率協会
 JMA マネジメントスクール
FAX: 03-3434-5505
 TEL: 03-3434-6271
 E-mail: seminar@jma.or.jp
 【受付時間】
 月～金曜日 9:00～17:00 (ただし祝日を除く)

参加申込書

S1

11/13(木) 10:00~16:00

新たな資源開発とエネルギー技術

1 シェール革命と日本企業のビジネスチャンス

- 2000年代に入って豊かな埋蔵量をほこるシェール資源の採掘技術が確立し、シェールガスやシェールオイル(タイトオイル)の増産をもたらした
- シェール資源の開発は、米国の原燃料コストを低下させ、内外製造業の米国回帰シフトを発生させている
- 日本企業は、シェール採掘インフラ需要だけでなく、環境保護や石化原料のライトフィード化への対応でも事業機会がある

S: 福田 佳之 (株)東レ経営研究所 産業経済調査部門 シニアエコノミスト

2 国内におけるシェールオイル開発の展望

- 国内におけるシェールオイルポテンシャル(秋田シェールオイルプロジェクトの背景)
- 秋田シェールオイルプロジェクトの現況(鮎川フィールドの商業生産、福米沢プロジェクト)
- 同プロジェクトの今後の展開と課題(技術面、環境対応)

S: 横井 悟 石油資源開発(株) 国内事業本部 副本部長

昼休み 12:00~13:00

3 シェール革命を担うわが国の水銀処理技術と水素エネルギー技術

- シェール革命の要となるわが国の水銀処理技術と新水素源の製造、運搬、貯蔵等の技術
- 新水素源による燃料電池と水素燃料等のわが国の水素エネルギー技術
- シェール由来の新水素源の今後の展望

S: 幾島 賢治 IHテクノロジー(株) 専務取締役

4 再生可能エネルギー事業の動向とビジネスチャンス

- 国内外の再生可能エネルギービジネスの動向
- 株式会社レノバの再生可能エネルギー事業(メガソーラー他)の紹介と事業展開戦略
- 再生可能エネルギー展開のポイントとビジネスチャンス

S: 加藤 健太郎 (株)レノバ 環境エネルギー事業部長

5 地中熱利用システムの技術動向と施工事例

- 各種熱交換方式(ボアホール方式・基礎杭方式・水平方式)の概要と施工事例
- 長期運転実績値(弘前まちなか情報センター、秋田市立山王中学校)
- 地中熱施工現場の代表例(東京スカイツリー、小田急電鉄複々線化事業)

S: 石上 孝 三菱マテリアルテクノ(株) 資源・環境・エネルギー事業部 ドリリング部 係長

※プログラム内容等が変更になる事がありますので、予めご了承ください。

S: スピーカ (敬称略)

S2

11/14(金) 10:00~16:00

海洋・海底資源開発とエネルギー技術

1 海洋産業の振興と創出について

- 海洋立国とは、海洋産業立国のことである
- 排他的経済水域の開発があって、権益がある
- 政策・法整備・基盤構築により新海洋産業が生まれる

S: 湯原 哲夫 (一財)キャノングローバル戦略研究所 理事・研究主幹

2 大水深石油開発のトレンド

- 世界的な大水深石油開発の経緯と現状
- 大水深開発システム
- 大水深開発活動の推進

S: 伊原 賢 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 上席研究員

昼休み 12:00~13:00

3 海洋石油・ガス開発技術の現状、課題と展望

- 昨今シェール革命の陰に隠れがちな海洋石油・ガスの重要性につき再確認する
- 海洋石油・ガス開発・生産に関するライフサイクル、ワークフローや構成技術、大水深化への歩みにつき解説すると共に、FPSOやFLNG・FGTL等への取り組みの現状・課題と将来の展望につき議論する
- 産業界及び当社の取り組み、課題

S: 藤木 信裕 千代田化工建設(株) オフショア・アップストリーム事業本部 本部長代行

4 浮体式海洋石油・ガス生産設備

- 浮体式海洋石油・ガス生産設備の特色
- 最近の事例・動向
- 今後の展望

S: 清水 徹 三井海洋開発(株) 事業開発部 FLNGシニアプロジェクトマネージャー

5 メタンハイドレート開発に関する技術動向と展望

- メタンハイドレート開発の概要
- 商業化生産に向けての技術課題
- 今後の展望

S: 羽上田 裕章 新日鉄住金エンジニアリング(株) 戦略企画センター 海底資源開発事業推進部 シニアマネージャー

※プログラム内容等が変更になる事がありますので、予めご了承ください。

S: スピーカ (敬称略)